

みらいへど

JA全農えひめ情報

2022

6 - 7
Jun. Jul.

特集

経済事業整備課の
取り組みについて





▲高品質のたまねぎ。2Lサイズのもみじ3号



▲J A えひめ中央のアグリセンター敷地内に立つ「北条玉葱のあゆみ」を記した顕彰碑



▲山崎さんの日に焼けた笑顔がまぶしい

▲ウグイスがさえずり、たまねぎの匂いがほのかに漂う立岩川の北に位置する山崎さんのたまねぎ畑

たまねぎの収穫

(松山市北条地区)

愛媛県内ほぼ全域で栽培しているたまねぎですが、とりわけ松山市北条地区は100年の歴史を誇る産地です。花崗岩の水はけのよい土壌と瀬戸内海に面した霜害のない温暖少雨の気候が適し、水田の裏作として、また伊予柑の作業時期と重複せず、キャリーや貯蔵庫は伊予柑と併用できる利点も産地化の一助でした。

昭和元年に珍しい野菜の新興産地としてたまねぎを作り始めた北条地区。戦後に進駐軍特需や食の洋風化で生産が拡大し、昭和30年代には生産者自ら^{みずか}が値をつける画期的取引で価格が安定し、145ha、5,800tを生産するまで成長しました。以後も国の産地指定や井邦賞（現・愛媛新聞賞）受賞など不動の地位を築いています。

5月下旬、山崎久生さんの15aの畑で収穫が始まりました。山崎さんはたまねぎ部会を4年間牽引している部会長です。水はけを良くするために溝の深い畝作り、雨天を見越した数日前の防除など、要所を押さえた栽培で高品質のたまねぎを作っています。畑で整然と並んで日光浴をしているのは、ぎゅっと首の締まった、硬くてずっしり、甘くておいしいたまねぎです。翌年4月まで腐敗なく日持ちすることでも定評があります。

「たまねぎたっぷり、お肉ちよっぴりの食事が元気な身体づくりの秘訣です」と茶目っ気たっぷりの山崎さん。たまねぎの収穫は6月中旬まで続きます。

あぐり〜ど

2022年6 - 7月号

CONTENTS

全農グループの経営理念

私たち全農グループは、
生産者と消費者を安心して結ぶ
懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

今月の表紙



まとまった青梅をいただいたら、他の仕事はひと休み。さっそく、梅仕事にとりかかりましょ。砂糖漬や梅シロップ、甘露煮、梅酒、梅ジャムはいかが？ 追熟して黄色く、良い香りを放つようになれば梅干しを漬けましょか。梅の加工品は胃腸を整えたり、疲労回復にもいい食材。じめじめした梅雨の時期、暑い夏にもオススメです。

●表紙：梅
はら ふみ（イラストレーター）

※『あぐり〜ど』は、「愛媛農業（Agriculture）」を「リード（Lead）」するという意味と「心をつなげる（Agreed）」という意味を込めています。

農の風景Vol.228

たまねぎの収穫

2

〈特集〉

経済事業整備課の 取り組みについて

6

THE・ねっとわーく

8

ふるさと ESSAY VOL.296

ジャックと豆の木

スミダ ヒロミさん

10

TOPIC NEWS

12

READERS通信

NOW NOW COOKING

〈今月の素材〉 きゅうり

JA全農えひめ

ホームページ

<https://www.zennoh.or.jp/eh/>



- お取り寄せ・JA全農えひめ直販ショップ
<https://www.ja-town.com/shop/c/c7201/>
※愛媛の旬の農産物と加工品をお届けします！
- JA全農えひめ「えひめの食」企画
<https://www.zennoh.or.jp/eh/food/>
※「えひめの食」では、旬の農産物情報を発信しています。
- ◆備えひめ飲料
<http://www.ehime-inryo.co.jp>
- ◆JAえひめアイパックス㈱
<http://ai-pax.jp/>
- ◆JAえひめフレッシュフーズ㈱
<http://fresh-ranran.jp/>
- ◆備えひめライス
<http://www.himerice.jp/>
- ◆JAえひめエネルギー㈱
<http://www.ja-ehimeene.co.jp>
- ◆JAえひめ物流㈱
<http://www.jat-ehime.co.jp/>

JA経済事業の強化に向けた再編整備の取り組みについて

JA全農えひめは、令和4年度から「経済事業整備課」を新設しました。第38回JA愛媛大会で決議された「次世代へつなぐ愛媛農業と地域共生の未来づくり」不断の自己改革によるさらなる進化」の実践に向け、経済事業強化メニューの提案を通じてJAの営農経済事業の収支改善に向けたサポートに取り組んでいきます。また全農各事業部と連携し、JA域を越えた選果施設、集出荷施設の広域利用体制の構築を図り、総合物流による合理化に向けた検討と生産・販売・購買体制の強化に取り組めます。



JA支援の実施項目（基本メニュー）

目的 ①経営・事業課題の見える化と対応方向の提示（課題整理）
②事業課題への具体的な課題解決方法の提示（ソリューション）の両輪ですめる。

事業改善の取組手法	実施目的	農家・組合員サービスの維持・向上
経営分析 ■ 成り行きシミュレーションの分析 ■ 場所別部門別の事業分析	改善目標額の明確化	全体課題を可視化することで、あるべき姿の検討の一助とする 事業運営コストの削減 出向く要員の確保 物財・物流費の抑制 営農指導・販売体制強化の実現
事前アンケート ■ 課題認識の事前把握とJA内での共有化 ■ 現行取組事項の見える化・数値化	既往の取組課題の共有化	
全施設巡回 ■ 拠点と現地実態の把握 ■ 固定資産の薄価差・減損リスク等の確認	最適な拠点再編の検討	
役員・職員ヒアリング ■ 業務実態の把握・課題認識の聞き取り	ボトルネックの把握	
業務量調査 ■ JA職員の行動実態、業務の重なりを把握 ■ 改善可能な業務の分析	効率化ポイントの絞込み	
業務手順調査 物流実態調査 ■ 業務の重なり、紙、FAX等の手順課題把握 ■ JAの物流実態の把握・課題の洗い出し	システム化・物流合理化の検討	
改革プランの提示 ■ 調査結果に基づくプランの提示	改革グランドデザインの提示	
改善提案 ■ 全農の持つ経済事業強化メニューの提案（JA個別課題・JA域を超える課題への対応）	収益力・サービスの向上	

愛媛県農業の概要

2020 農産物産出額 (単位：億円)

14	群馬県	2,462
15	福島県	2,116
16	福岡県	1,977
17	宮城県	1,902
18	秋田県	1,898
19	静岡県	1,883
20	埼玉県	1,676
21	長崎県	1,491
22	兵庫県	1,478
23	岡山県	1,414
24	愛媛県	1,226億円
25	佐賀県	1,219
26	大分県	1,208
27	広島県	1,190
28	高知県	1,113
29	和歌山県	1,104
30	岐阜県	1,093
31	三重県	1,043
32	山梨県	975
33	徳島県	955
34	沖縄県	910
合計		89,519

(出典：農業所得統計、農林業センサス)

●産出額トップ10

品目	順位	金額	割合
果実	1位	532	43.64%
野菜	2位	197	16.16%
米	3位	150	12.31%
豚	4位	128	10.50%
鶏	5位	63	5.17%
その他作物	6位	48	3.94%
乳用牛	7位	40	3.28%
花き	8位	28	2.30%
肉用牛	9位	25	2.05%
いも類	10位	8	0.66%

●産出額の構成 (ツリーマップ)

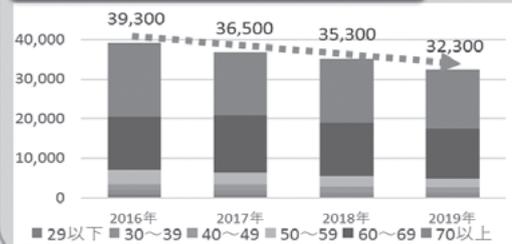


農業就業人口 (単位：人)

愛媛県	2010	2015
農業就業人口	52,767	41,104
うち65歳以上	33,915	27,894
65歳以上の割合	64%	68% (▲4%)

全国23位

2016年以降の農業就業人口の推移



愛媛県農業の特徴

- ✓ 瀬戸内特有の日照時間に恵まれた温暖な気象条件のもと、果樹・畜産・米を基幹作物として多彩な生産活動が展開されており、その産出額は、中国四国地域において第2位の地位を占めている。
- ✓ 県土の7割が中山間地域で、耕地面積の40.6%が樹園地であり、かんきつに特化した生産状況である。
- ✓ 畜産についても基幹作物としての地位を占めており、養豚部門では、飼養頭数、産出額ともに中国四国一となっている。

愛媛農業の現状と2030年の予測

愛媛県の農業を取り巻く情勢は依然として厳しい状況が続いています。2020年(令和2年)の基幹的農業従事者数は28・7千人で平成27年(5年前)から7千強(19・8%)の減少となっており、構成年齢では65歳以上の占める割合は74%と全国平均69・6%より高い割合となっています。

2030年の予測値では基幹的農業従事者数は28・7千人から19・0千人へ9・7千人(33%)減少し、販売金額1千万円以上の経営体数は1,220人から1,461人、人数シェアで9%増加(6%↓15%)する一方、300万円未満の経営体数は14,628人から9,957人、人数シェアで25%と大きく減少(人数シェア75%↓49%)すると見られています。農家数の減少の一方で法人化や大規模経営体など企業の生産者が増加し、野菜作を中心に作業委託が増加、農地の宅地化への転用が一層進展すると予測されます。

また消費面では人口減少とともに高齢化が進むことから、単純な人口減少以上に食料消費は減少します。少子高齢化が進み、高齢者や女性が現在以上に働く時代となり、ますます販売の多様化が進展すると思われれます。

生産基盤は少数の大規模生産者で構成され、販売面は多数の多様な実需者が占めることとなる中で、JAグループとしていかに機能を発揮し事業を展開するかが、喫緊の課題となっています。

経済事業整備課の取り組み

1. JA支援による経済事業強化

今後、県内JAでは支所や営農経済施設の統廃合がさらに進み、地域の自治体と連動したサービス体制の整備も必要になると考えられます。また生産基盤の減少に伴い事業量が減少する中で、営農指導体制や集出荷・選果施設の効率性の低下や施設自体の老朽化な

ど、生産基盤を維持・拡大するため、どのような施設を設置するべきか検討する必要があります。

・労働力支援、経営相談など生産者に対するJAグループとしての対応力強化

・担い手へのアプローチや新規就農者、法人対応の在り方

・販売戦略に基づく生産振興対策や資材、物流対策をどのように構築するか

・県内に必要な施設は何か

・広域や共同利用施設をどう設置するか

・小規模でも地域に必要な施設をどう設置するか

・10年後を見据え、愛媛農業をどのように維持するのか

など、「JA支援」の取り組みを通じ、JAごとに経営分析から課題を洗い出し、経済事業強化に向けたメニューを提案し経営改善を図る取り組みにより、農家・組合員サービスの向上と手取り最大化を目指します。

2. 集出荷・選果施設の広域利用体制の構築

米麦分野では集荷・販売機能強化に向けた県域一元集荷体制の整備の他、保管倉庫の設置や既存倉庫の統廃合（新・増設部含む）、共設施設の広域化・統廃合（新・増設部含む）など広域共同集荷体制構築による集荷事業体制の強化と品種構成の見直しによる生産基盤の再構築を図っていきます。

果実分野では、令和3年産の温州みかんからJAえひめ南（玉津



共選）・JAひがしうわ（明浜共選）で広域選果がスタートしました。

野菜分野では、既に南予地区2JA（ひがしうわ・えひめ南）でJAひがしうわ野村共選の「きゅうり選果施設」共同利用に取り組んでおり、東予地区4JA（うま・えひめ未来・おちいまばり・周桑）

が参加する「愛媛さといも広域選果場」が稼働しています。さらに広域構想の具体化を図っていくとともに、品目ごとの集出荷・選果施設の広域化・共同利用体制確立

について新設・既存施設の有効活用も含め再配置を図っていきます。また、特に野菜場面については集荷量が年々減少してきており、施設運営については共選品目の選定と生産振興対策は重要課題

となっています。

3. 物流改革の取り組み

JA支援による経済事業強化メニューを設定する上で、JAの支所再編や店舗整備・再配置、倉庫集約などの構想と連動した県域物流体制の再構築によるJAへの物

流合理化を進めています。

販売事業においては米穀、果実、園芸等における施設統廃合や広域利用施設の新設・再配置、集出荷に係る県域および管内物流の整備などを図ります。

購買事業では特に肥料農業事業で中四国広域物流センターを核にした県域配送体制の整備と引取拠点の再編に向け、配送の効率化とともに物流システムの運用拡大による県域受注体制の確立に取り組んでいきます。



▲経済事業整備課のメンバー

JA支援の具体的なすすめ方（事業別マスタープラン17項目）

1. 生産振興事業 分業による持続可能な産地づくりと労働力支援事業構築 JA経済事業基盤の維持・拡大に向けた外部労働力利用による持続可能な生産基盤づくり		2. 総合サービス事業 農家に寄り添った地域サービスと労働力組み合わせ事業構築 地域内の労働力組み合わせによる周年雇用体系の構築及び農家向け管内サービスの充実		3. TAC事業 担い手への総合判断による農家の事業利用拡大 生産者ニーズを踏まえた推進体制の再構築によるJA事業トータルでのシェア拡大	
4. 食糧事業 広域共同集出荷体制の構築による集荷事業体制強化	5. 果実生産 重点品目およびオリジナル品種の高品質生産対策による産地基盤強化	6. 果実販売 選果場再編による将来を見据えた施設の検討及びJA域を越えた広域選果の推進	7. 園芸生産・販売 園芸生産振興対策と園芸関連集出荷施設広域利用化による事業基盤強化	8. 直販事業 直販事業の強化による生産振興	
9. 畜産事業 畜産事業最適化の取り組みによるJA畜産事業の基盤強化	10. 肥料農薬事業 県域物流体制再構築及び推進機能強化による事業基盤強化	11. 農業機械事業 JA・県域農機一体運営方式による事業基盤強化	12. 段ボール工場 包装資材トータルコスト削減によるJA販売事業支援	13. 生活事業 商品提案による県内農畜産物の消費拡大強化	
14. 葬祭事業 葬祭施行事業の共同化・広域化による事業基盤強化支援	15. 施設農住事業 地域に適した農業施設等産地インフラ整備、再編への支援	16. SS事業 エネルギー環境変化を踏まえた拠点配置最適化によるSS事業基盤強化	17. 電気事業 「JAでんき」のJA事業開始による総合エネルギー事業への展開		

生産資材事業における業務効率化の目指す姿

- ▶店舗再編にあたって、受発注業務の効率化をすすめることが重要。
- ▶全農の受発注センターシステムを活用することで、受発注業務の効率化および組合員サービスの維持向上を図る。
- ▶資材店舗における在庫管理についても、全農の新・資材店舗POSシステムを活用し効率化する。

受発注センターシステムの概要

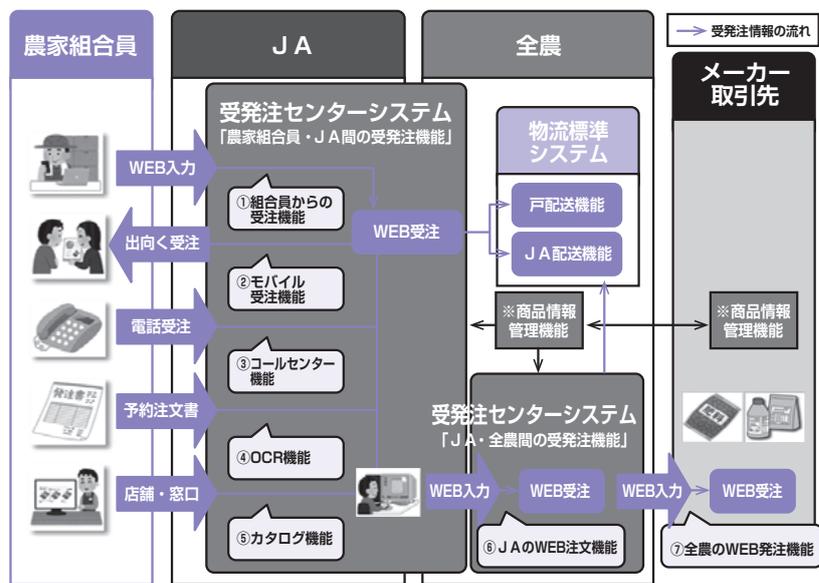
- ✓組合員・JA・全農・メーカー間をWEBでつなぐ受発注システム

想定される効果

- ✓組合員の生産資材発注の利便性向上、商品情報提供等の組合員対応強化による事業利用促進
- ✓生産資材の受発注業務の効率化

JA事業への貢献

- ✓購買事業量の確保
- ✓受発注業務の軽減（内部統制強化）
- ✓要員配置の重点化（推進体制強化）
- ✓システム投資コスト削減





THE

ねっくとわーく

「愛媛県産かんきつをPRしていただく」 2022愛媛みかん大使を募集

果実課

J A全農えひめは、「果樹王国えひめ」のみかん・伊予柑キャンペーンをはじめ愛媛県産果実の消費宣伝活動に協力していただく「2022愛媛みかん大使」4人を募集します。みかん大使による消費宣伝活動は昭和34年度から実施しており、今回が64回目

(64代目)となります。

●応募資格

- ① 愛媛県内在住の18歳以上（高校生は除く）の元気で明るく好感の持てる方。
- ② モデルなど特定の会社や団体等と専属契約していない方で、他のコンテストに選出されていない方。
- ③ 愛媛県産果実の消費宣伝キャンペーン等の活動に必ず参加でき、明朗・快活で表現力豊かな方。
- ④ 勤務先・学校等の理解と協力が得られ、愛媛みかん大使として年間活動できる方。
- ⑤ SNSを活用して果実のPRを発信できる方。

●応募方法

- ① 所定の応募用紙または既存の履歴書等に必要事項を記入のうえ、サービス判程度の上半身の写真を添えて、応募先まで郵送ください。

- ② 最終審査出席者全員

●副賞ならびにプレゼント

- ① 愛媛みかん大使（4人）

- ② 委嘱料20万円を進呈します。

●任命式（8月22日（月））

関係者による任命式を行い、マスコミに発表します。

●審査方法

- ① 事前審査（書類審査）

- ② 7月25日（月）

- ③ 最終審査（面接審査）

- ④ 8月8日（月）、リジエール松山で面接審査を行い、4人を選考。

J A全農えひめ、愛媛県果樹同志会、マスコミ関係者らが審査します。

- ② 応募用紙は、県内J A・J A全農えひめ・リジエール松山・各テレビ局・愛媛新聞社・各大学・専門学校の受付等に置いてあります。また、J A全農えひめホームページからも印刷できます。
- ③ J A全農えひめホームページ「みかん大使募集」ページおよび携帯サイトからも応募できます。※応募書類・写真は返却しません。

●「愛媛みかん大使」の活動

- ① 任期

令和4年9月～令和5年8月末

- ② 活動内容（年間30日程度）

全国各地での消費宣伝キャンペーン、テレビ・各種イベント出演、店頭での販促活動等への参加、SNSを活用した情報発信等（日当・交通費・制服一式を支給）。

●【キャンペーン等スケジュール】

- 11月（みかん）
- 2月（伊予柑）
- 4月「オレンジデー」関連イベント他予定

※新型コロナウイルスの影響を考慮し、活動内容は適宜判断いたします。

応募先・問い合わせ

〒790-8555

松山市南堀端町2番地3

J A全農えひめ果実課
愛媛みかん大使募集係

☎089-948-5765

【ホームページアドレス】

<https://www.zennoh.or.jp/eh/>

愛媛県産かんきつの魅力をPRしてみませんか？



2021愛媛みかん大使の皆さん

令和3年度愛媛県果樹同志会大会 愛ある柑橘王国再建記

県内果樹生産者で組織する愛媛県果樹同志会は、3月24日、松山市のリジエール松山8階クリスタルホールで「令和3年度愛媛県果樹同志会大会」を開き、令和4年度の活動方針などを決めました。



今大会は、感染症対策のため同志会会員は各産地からリモートで参加。大会では、えひめみかんまつり等コンクール入賞者の表彰、令和3年活動報告や情勢報告のほか、大会宣言などが行われました。

活動基本方針では、かんきつ・落葉果樹生産対策、安全・安心な果実体制の確立、生産基盤の整備・経営改善、消費者交流による売れる商品



優勝旗を受け取るえひめみかん祭りほ場コンクール農林水産大臣賞の矢野啓一さん

づくりとPR活動、生活改善・健康管理の推進、農政活動の推進、組織活動・教育活動の推進、災害からの復旧・復興支援などを掲げました。

また、愛媛県果樹研究センターの井上久雄センター長が、「柑橘の高品質生産について」と題した講演を行い、果樹の基礎生理を踏まえながらかんきつの高品質安定生産技術について解説しました。

大会宣言では、将来に夢と展望をもって経営に専念でき、次代の後継者に安心して経営をつなぐことができる果樹産業を目指して、最大限の



えひめみかん祭り果実コンクール農林水産大臣賞の玉井真吾さん

自助努力を發揮し、

- 一、今こそ初心に！ 取り組む高品質安定生産！
 - 二、需要を満たす信用と信頼の築きと気付き
 - 三、次世代へつなぐ農業遺産を守る
 - 四、安全安心な愛媛のみかん作りを
- の4つの事項に取り組むことを宣言して、採択されました。

※えひめみかん祭り果実・ほ場コンクールの主な入賞者は前号までに紹介しているため省略します。



産地からリモートで活動内容の報告などを行った

ふるさと ESSAY

Vol.296



ジャックと豆の木

友人に土地を借りた

葛

笹

ヨモギ

スギナ

セイタカアワダチソウ

何年も放置された元畑は

草たちが元気に伸び放題

私はここをまた畑にすべく

とんび鋤という

開墾用の鋤をネットで検索して購入し

開墾開始

葛は大きな根を張り

山芋のような根っこになっていた

笹やヨモギは根っこをとんび鋤で

断ち切って掘り出した

友人の力も借りて

数日で開墾終了

カボチャ

スイカ

エダマメ

プチトマト

ナスなどを植えていった

今度はカボチャとスイカのつるが

畑中をのびるのびる

夏になって

あつここにスイカ

そこにもスイカ

葉っぱをめくるとスイカ

もう食べきれない

お裾分けに奔走した

カボチャもゴロゴロなっている

エダマメも朝イチで収穫したのを

茹でて食べた

大きなザルいっぱい

ペロリとたいらげてしまった

プチトマトもナスもたくさんなった

スミダヒロミ

HIROMI SUMIDA

■プロフィール■

版画家。ロン版画工房主宰。松山市在住。

1968年12月27日、福岡県生まれ。血液型はO型。中学生まで福岡で過ごし、高校時代を松山で送る。1987年、京都の嵯峨美術短期大学（現 嵯峨美術短期大学部）版画科へ進学。卒業後は公募展に出品、個展やグループ展を数多く開催し、精力的に活動が続いている。抒情詩的な作風が魅力。趣味は、家庭菜園、ゲーム実況をYouTubeでみること。

1998年「わたくし美術館賞」、2001年「日本童画大賞（イルフ童画館）優秀賞」、2007年版画フォーラム（東秩父村和紙の里）喜楽賞」受賞。2020年「詩画集 つるさんはまるまるむし」を出版。2021年秋の県展（第70回記念秋季県展）「70周年記念会員賞」受賞、2022年秋季県展出品予定。2022年10月、ギャラリー3ta2（松山市高井町）にて個展開催 & 木版画カレンダー販売予定。版画教室（月1回）開催中。





▲「天気がいいので屋外で撮ってみました」

綿も植えてみた
洋綿と和綿を植えて違いを楽しんだ
綿摘みは楽しかったけれど
種取りに苦戦した
種取り機を購入して試してみたが
壊れていたのか
使い物にならなかった
綿を紡いで糸も作ってみた



▲タイトル：星のアコーディオン
「いろんな生き物が集まってきています」

ハーブも数種類植えた
中でもミントは
びっくりするほど増えて
ミントの壁みたいになった
鎌で刈ってお風呂に入れて
入浴剤がわりにしてみた
ローズマリーも大きくなって
花を咲かせた
残念だったのは
楽しみにしていたトウモロコシが
もう収穫というところで
獣に食べられてしまった事
数年して畑は返ってしまった
その頃実家の庭で
父がブンドウマメを育てていた
それがジャックと豆の木みたいに
大きくなって
採りきれないほど実がなった
私は大きな脚立に乗って豆を収穫した
採っても採っても
まだ実がある
父のブンドウマメは毎年
ジャックと豆の木みたいに
大きくなってたくさんの実をつけた
近所でも有名だった
いつか私もジャックと豆の木を
育ててみたい

令和4年度 全農杯全日本卓球選手権愛媛県予選 少年少女が全国大会めざし熱戦！

5月8日に、今治市営中央で全農杯全日本卓球選手権大会の県予選会が開かれ、少年少女83人が熱戦を繰り広げました。

同大会は、県卓球協会が主催する小学生対象の大会では最大規模を誇ります。男女別に小学6年生以下のホープスの部、4年生以下



ホープス、カブ、パンピの部で優勝した皆さん

のカブの部、2年生以下のパンピの部の3クラスに分かれ、予選リーグと決勝リーグが行われました。男女各クラス2位以上の選手12人が、全国大会に出場します。

男子ホープスの部で優勝した武田大雅さん(レインボー)は、三度目の全国大会出場を決め、「全国大会では必ず一勝します」と力強く話しました。女子ホープスの部で優勝した水ノ江美帆さん(Shiba Taku)も、「全国大会ではベスト8以上をめざしたい」と三度目の全国大会に向けて意気込みをみせました。

JA全農えひめは、参加賞のほか、入賞選手に副賞として「ふれ愛・媛ポーク」や「えひめ100みかんいよかん混合」ジュース、ひめライス「愛媛県産にこまる」などを贈りました。

オリジナルエコバックが当たる 「株えひめ飲料でキャンペーン」の抽選会

(株)えひめ飲料は、4月27日に、松山市安城寺町の本社で、ポンジュース350mlペットボトル×12本(ラベルレス)とオリジナル

エコバッグ大・小(各1枚)が当たる「ポンジュースエコバッグプレゼント」キャンペーンの抽選会を実施しました。道上久司社長らが、21,660通の応募ハガキ



抽選を行う道上社長(左から2番目)ら

の中から当選者500人を選びました。

同キャンペーンは、発売以来ロングセラーを続ける「ポンジュース」の拡販をめざし、令和4年1月1日から3月31日まで実施しました。

北海道から沖縄まで全国から応募があり、同社では「毎回、全国各地からたくさんのお応募があり感謝します。昔からのファンだけでなく、若い方向けのキャンペーンも展開したい」とコメントしました。

応募ハガキには、「フレッシュでおいしくておやつにピッタリです。」「特別な時には必ずポンジュースを飲んでいきます。」などの声が寄せられました。

当選者には、5月中旬から賞品が発送されました。

◎愛媛県産清見と伊予牛「絹の味」を寄贈
ようこそ
ヤクルトスワローズ！

J A全農えひめは、プロ野球公式戦で松山市に訪れたヤクルトスワローズに対し、愛媛県産の清見と伊予牛「絹の味」を寄贈しました。

4月13日、試合前に坊っちゃんスタジアムで行われた寄贈式では、関岡光昭県本部長が同球団の川端慎吾選手に清見10箱×10kg、伊予牛「絹の味」黒毛和牛5kgの目録を贈呈。川端選手は、「愛媛のかんきつ、特に紅まどんなが大好き。清見も美味しかったです」と笑顔で感謝を述べていました。



◎4月14日「オレンジデー」
カップルの記念日に
愛媛県産清見はいかが？

J A全農えひめは、愛媛発祥の「オレンジデー」を盛り上げて、生産量日本一を誇る愛媛県産かんきつのPRと消費拡大につなげようと、松山市内等でオレンジデーイベントを実施しました。オレンジデーは、バレンタインデー、ホワイトデーに続くカップルの記念日として、2009年にJ A全農えひめが日本記念日協会に登録しています。

4月9日、松山市大街道アーケードでサンプリングイベントを実施。愛媛いよかん大使らが、先着800人に愛媛県産清見を手渡しました。また、4月13日に坊っちゃんスタジアムで開催されたヤクルトー広島戦では、球団マスコットキャラクターのツバクローにちなみ、先着2、896人に愛媛県産清見を配布しました。



◎松山の新名物！
「みかん電車」 通年運行開始

「みかん電車」の通年運行がスタートしました。「みかん電車」は、J A全農えひめが「オレンジデー」PRのために期間限定で実施していたもの。ニュースやSNSで柑橘一色に飾り付けたイベント電車を見た人からのリクエストに応え、(株)伊予鉄グループが通年運行することとなりました。

これを記念して、(株)伊予鉄グループは、4月27日、松山市の和泉保育園の園児ら30名を招待して貸し切り列車を走らせました。招待された園児らは、松山市の古町駅で、みきゃんに見送られながら「みかん電車」に乗車。



みかんクイズで盛り上がる園児たち

車内ではみかんの吊り革や柑橘のポスターを見たり、愛媛いよかん大使の小川真夢さんが出題するクイズに答えたりしながら、道後温泉駅まで約30分の旅を楽しみました。

農の風景を読んで。西条市に住んでいるながら、デルフィニウムを栽培していることを初めて知りました。熱心に日々研究を重ねデルフィニウムを咲かせすごいと思います。私も庭いっぱい草花を趣味で作って楽しんでいきます。(西条市・高橋千代美さん)

私の母が花好きで、生け花を毎週変えています。寺田さんに頂いたデルフィニウムを母に渡して大喜びでした。父は芝生や木の手入れに大忙しです。わたしも手伝いをして家の中も外も華やかにしたいと思います!

ねっとわーくを読んで。年々たくさんの種類のジュースがでてきて迷います。昨年、試しに注文したせとかゼリーがおいしかったので今年は2ケース注文しました。孫たちも喜んで飲んでいました。

(八幡浜市・PN:コハチさん)

本当にたくさんの種類がありますよね。私は暑くなってきたので、夏バテ防止のために「塩と愛媛の夏かんきつ」で塩分をおいしく補給したいと思います!

ねっとわーくを読んで。私自身小さな頃からボンジュースが好きでよく飲んでいましたが、私の子供たちが大きくなっても我が家ではいつもボンジュースが家にあり、みんなでおいしく飲んでいきます。

(松前町:田中克也さん)

ボンジュースは老若男女問わず大人気ですよね。愛媛と言えばボンジュース!これからもぜひご愛飲ください!

「山瀬理恵子のアス飯」楽しみに聞いています。健康オタクなので食の大切さのトーク・レシピ等いいですね。食材を知ることも勉強になり笑顔になれます。

(伊方町:山本貴一さん)

健康について考えることは大切ですよ。山瀬さんが考案するレシピは手軽なものが多く、料理が苦手な私も挑戦してみようと思います!

今月の素材「乾しいたけ」の記事がとても勉強になりました。娘がしいたけ大好きなのでぜひ作ってみたいです。

(松山市:松浦加奈さん)

乾しいたけレシピいかがでしたか?乾しいたけは和食のイメージがありますが、今回はスペインやイタリアの料理にアレンジしてもらいました。香りとうま味豊かな食材なので、ぜひチャレンジしてみてください!

NOW NOW COOKINGを読んで。ビタミンDの豊富な乾しいたけ、カルシウムをたくさんとってビタミンDが足りなければ十分吸収されないようです。骨粗しょう症を気にしているので今月の素材乾しいたけメニューに感謝です。

(今治市・PN:A・Tさん)

様々な種類の栄養を取って、お体にお気を付けてください。私も健康的な体を目指し、野菜をしっかり食べようと思います!

編集後記

初めまして!今月号から「あぐり〜」の編集担当となりました菅彩恵です。今年4月からJA全農えひめ県本部で働くことになりました。3月までは学生だったので、社会人になったばかりで右往左往しているところです。そんな中、「あぐり〜」編集担当になれたことを嬉しく思います。皆様にわかりやすく、楽しく読んでいただけるような「あぐり〜」制作に努めます。引き続き、ご支援・ご協力の程、よろしく願います。

(彩恵)

今月のクイズ

2022年愛媛みかん大使を募集中です。愛媛みかん大使は、今年で何代目になるでしょうか?

「〇代目」

プレゼント

クイズに正解した方の中から抽選で、図書カード1,000円分を10名様にさしあげます。



応募方法

折り込みハガキにクイズの答えと本誌に対するご意見・感想などをお書き添えの上、ご郵送ください。

締切り

2022年7月15日(当日消印有効)

発表

「あぐり〜」8-9月号で発表します。

当選者発表

4-5月号の答えは「㊦㊧飯」でした。たくさんのお便りありがとうございました。厳正な抽選の結果、次の10人の方に図書カード1,000円分をお送りします。

寺尾 智美さん(四国中央市)
津島美智子さん(西条市)
福田りつ子さん(上島町)
越智 修三さん(今治市)
白石 義広さん(今治市)
松本美智子さん(松山市)
道休 正人さん(松山市)
楠 裕子さん(松山市)
亀田 均さん(伊予市)
有田さちよさん(宿毛市)

今月の素材

きゅうり



水分豊富で、シャキッと食感
食せば、カラダもクールダウン



▶(左前・右後) きゅうりと豆乳のパバロア、(右前) きゅうりとハムの生春巻き風、(左後) きゅうりタルタルのカナッペ仕立て

指導/愛媛調理製菓専門学校 山崎 翔 先生

きゅうりタルタルのカナッペ仕立て

〈材料・4人分〉	※1人あたり約67kcal
卵	2個
きゅうり	1/2本
生クリーム	10g
マヨネーズ	40g
塩	適量
レモン汁	適量
黒コショウ	適量
セルフィーユ	適量
クラッカー	8枚

〈作り方〉

- ①かためのゆで卵を作り、粗みじん切りにする。
- ②きゅうりは板ずりし、水で洗い、5mm程度の角切りにする。
- ③ボウルに①、②、マヨネーズと生クリームを入れてよく混ぜ、塩とレモン汁で味をととのえる。
- ④クラッカーに③のタルタルをのせ、好みに黒コショウ、セルフィーユをちらし、完成。
※きゅうりを和えたらその日中にお召し上がり！
※③のタルタルはフライのソースなどにも応用可。

きゅうりとハムの生春巻き風

〈材料・4人分〉	※1個あたり約219kcal
きゅうり	1/2本
生ハム	4枚
サニーレタス	2枚
カイワレ大根	1束
生春巻きの皮 (ライスペーパー)	4枚
鯛 (刺身用)	8切れ
マヨネーズ	30g
もろみ味噌	10g
ゴマ油	適量
岩塩	適量

〈作り方〉

- ①きゅうりは板ずりして水洗いし、3~4ヶ所ピーラーで皮をむき、縦1/4に切る。
- ②レタスとカイワレは食べやすく切る。
- ③生春巻きの皮に①と②、鯛、生ハムをのせて巻き、食べやすく一口大に切る。
- ④マヨネーズともろみ味噌を合わせたものと、ゴマ油に岩塩を加えたものを添え、好みでディップする。

きゅうりと豆乳のパバロア

〈材料・4個分〉	※1個あたり約158kcal
きゅうり	2本
豆乳	200cc
生クリーム	100cc
砂糖	10g
板ゼラチン	10g

〈作り方〉

- ①きゅうりの皮と種を取り除きミキサーにかけ、ピューレにする。
- ②豆乳を温め、水でふやかしたゼラチンを入れて溶かし、粗熱を取る。
- ③生クリームに砂糖を加え、6~7分立てになるまで泡立てる。
- ④①と②を合わせ、③を数回に分けて加え、さっくりと混ぜ合わせて器に流し入れ、冷蔵庫で冷やし固める。
- ⑤1~2時間後に冷蔵庫から取り出し、飾りのきゅうり (分量外) をのせ、完成。
※前菜に、またアイス添えなど、さっぱりスイーツにもおすすめ。

せとかは、濃厚な香りと甘み、とろけるような果肉が特徴の柑橘です。

POM
えひめ
愛媛
せとか
ゼリー

せとか特有の華やかな味わいが
楽しめるゼリー飲料♪

愛媛産品
せとか

株式会社 えひめ飲料

〒791-8603 松山市安城寺町478番地
TEL: 0120-591-516 FAX: 089-923-1522

<https://www.ehime-inryo.co.jp>
(通販専用) <https://www.pom-j.com>



愛媛みかん大使募集

募集期間
[当日消印有効]

令和4年
6月10日(金)~7月20日(水)

賞品
愛媛みかん大使
(4名)全員に...

賞金20万円

応募方法



下記応募先に
応募用紙
または、履歴書を郵送!



JA全農えひめホームページ
から直接応募!
スマートフォンはこちらから▶



応募先および
お問い合わせ

〒790-8555 松山市南堀端町2番地3 JA全農えひめ 果実課「2022 愛媛みかん大使募集係」
Tel.089-948-5765 Fax.089-948-5779 <http://www.zennoh.or.jp/eh/>

2022愛媛みかん大使

検索

主催/JA全農えひめ

※個人情報は、愛媛みかん大使事務局にて適切に管理し、選考(発表を含む)並びに記念品等の発送に利用させていただきます。
※選考及び大使による活動は、新型コロナウイルスに留意した形で実施いたします。

2022 The 64th Ehime Mikan Ambassador Since 1959



「えひめの食」Instagram
Follow Me!

ehimenoisyoku



あぐり~どはWEBでも読めます

<https://www.zennoh.or.jp/eh/about/information/>